

広報

ひこね

2004

5/15



広々とした麦畑（南三ツ谷町）



田植えを待つ苗と馬場さん

表紙では、「住みたい 住み続けたいまち」彦根の表情を写真で紹介しています。写真をお持ちでない場合は、**困情政策課**広報係で撮影します。☎22-1411（内線431）へ気軽に連絡してください。

表紙のことば

馬場 信行 さん（南三ツ谷町）

5月の終わりに近づくと、彦根市南部の農地では、実りを迎えた麦畑が多く見られます。減反で米を作らない田で作付けされるもので、表紙の写真は昨年の南三ツ谷町の麦畑を写したものです。

麦の刈り入れの前には、田植え前の作業があります。私は約10年前に一念発起して、専業で農業を始めました。米にも、消費の低迷や国際的な価格競争などが影響し、しだいに農家の経営は難しくなっています。けれども、米は生き物で、手をかければかけただけ返してくれるので、農業という仕事には、ほかの仕事にないやろがいを感じます。毎年色々な工夫をして、よりよい米づくりを模索する日々です。